

ローランド株式会社

2023 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会 Q&A 要旨

日時：2023 年 8 月 10 日 13:00~14:00

説明者：代表取締役社長 ゴードン・レイゾン、執行役員 CFO 袴田裕一

Q1. ディーラー在庫の調整影響について地域ごとの状況を教えてください。

日本や欧州は徐々にセルインとセルスルーのバランスが取れてきています。北米はセルスルーは好調なものの、在庫調整の影響によりセルインは期待に届かない状況が続いています。中国は在庫調整影響に加えて需要が想定通りには戻っていない状況です。具体的には、電子ピアノは好調ですが、電子ドラムは苦戦をしております。

Q2. 通期予想達成に向けて、どのように考えているか教えてください。

売上については想定以上のディーラー在庫調整の影響があり、販売数量ベースでは業績予想が未達となる可能性は高いものの、想定より為替が円安に推移していることから、金額ベースでは通期予想は達成可能と考えております。営業利益については販売数量減の影響を、海上輸送費等の減少による原価低減や経費執行を厳選することでカバーし、業績予想を達成していきたいと考えております。

Q3. 北米の通期売上予想達成に向けてどのように考えているか教えてください。

北米ではディーラー在庫調整の影響を受けておりますが、一方で、セルスルーは前期を超える水準となっております。下期は年末商戦による需要の高まりもあることから、セルインが回復していくと考えております。

Q4. 中国について需要が弱いとご説明がありましたが、2Q（4-6 月）を見ると、対前期比で売上は 1 割以上増加しています。この要因について教えてください。

前期はロックダウン影響を大きく受けていたため、対前年同期比では状況は改善しておりますが、期初の想定と比較すると、需要は弱い状況となっております。

Q5. 価格競争が始まることも懸念されますが、下期の見通しについて教えてください。

低価格帯の電子ピアノでは価格競争もありますが、積極的に値下げ競争をしていく考えはございません。

Q6. DW 社とのシナジーについて、上期の進捗と下期予定について教えてください。

上期は計画通りの進捗となりました。下期にはエキサイティングな新製品を計画通りに発売できる見込みとなっております。営業利益への貢献は来期以降と想定しております。

Q7. Roland Cloud についてアップデートがあれば教えてください。

Subscriber、Paid User ともに順調に増加しております。1Q にバージョンアップした「Roland Cloud Manager」はチャーンレートの改善に貢献しております。

Q8. 生成 AI の出現でコンテンツ制作現場に大きな変化があると言われていますが、事業環境への影響についてどう考えているか教えてください。

基本的にはプラス影響があると考えております。AI の進歩は音楽をクリエイトしたい方にとって有効な支援ツールとなり、音楽制作の敷居を下げる効果が期待されます。結果として、クリエイター人口が増加していくと考えています。

※本資料は、ご出席者様から頂戴した主な質問をとりまとめたものです。回答の意図をより分かりやすくするため一部加筆修正を行っております

免責事項

本資料には、ローランド株式会社の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。